

CONTENTS

- 02 桜川市消防団敢闘賞受賞／小金井市と協定締結
- 03 桜川改修要望活動／水道事業要望活動／寄付寄贈
- 04 生涯学習センター通信
- 05 部活動地域展開
- 06 まちの話題
- 08 さくらマラソン大会募集
- 09 歴史資料館だより No.109
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 やまとの杜造成工事完了／年長さんご紹介

表紙

このまちはおれたちが守る



表紙は、10月6日に古河市イーエス中央運動公園で行われた茨城県消防ポンプ操法競技大会県西地区大会に出場した消防団員の皆さんを撮影したものです。鍛え上げられた一連の規律動作や操作技能を発揮した団員の皆さんからは、地域を守る強い決意と誇りが感じられました。

桜川市の人口と世帯

【人口】	36,094人	(- 26)
【男】	17,960人	(- 10)
【女】	18,134人	(- 16)
【世帯】	13,566世帯	(+ 16)
	()	は対前月増減
		常住人口
		令和6年11月1日現在

桜川市消防団敢闘賞受賞
消防ポンプ操法競技大会県西地区大会

10月6日、古河市で第75回茨城県消防ポンプ操法競技大会県西地区大会が開催され、桜川市消防団が敢闘賞を受賞しました。

この大会は、消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を目的に、全国各地で開催されているもので、県西地区10市町中、5市町の消防団が参加しました。6人1組でポンプ車からホースを延ばして放水し、的を倒すまでの時間や正確性を競いました。

当日は、大和地区の第19・20・21分団から選ばれた6人の選手が出場し、7月から約3か月の間、桜川消防署員から指導を受けながら、厳しい訓練を重ねた成果を発揮しました。



- 出場選手 (敬称略)
- 指揮者 成田省太郎(第19分団)
 - 1番員 高松賢太(第21分団)
 - 2番員 増測圭佑(第19分団)
 - 3番員 安田道晴(第20分団)
 - 4番員 増測武(第21分団)
 - 補助員 安達和哉(第19分団)

小金井市と

災害時相互応援協定を締結

問合先／防災課 (☎58-5111・75-3111代表)

11月14日に、小金井市(東京都)と桜川市が「桜川市と小金井市の災害時相互応援に関する協定」を締結するために調印式が、市役所大和庁舎で行われました。



協定を締結した大塚市長(左)と白井小金井市長(右)

調印式では、大塚市長と白井亨小金井市長が協定を取り交わしました。

この協定は、どちらかの市において災害が発生した場合、被災地の要請に応え、応急復旧が円滑に遂行されるよう、救援物資・資機材の提供、職員の派遣など、相互に協力を行うものです。

今回の協定は、以前から桜を介した交流があったことなどが縁となり、この度、締結されることとなりました。これにより、災害時の備えが進むことはもちろん、今まで以上に小金井市との協力が加速化されることが期待されます。

本市と小金井市

江戸時代に、本市の桜の苗木を小金井市の玉川上水へ移植した記録に基づき、交流を深めてきました。互いに名勝指定地を有しており、本年は指定100周年を迎える節目の年でもあります。



ともに本年が指定100周年となる名勝「桜川」(左)と名勝「小金井」(右)